

“ 農地・水・環境保全 ”

水土里のネットワーク通信

第122号
2019. 8. 1発行
島根県農地・水・環境保全協議会

いにしへの技を受け継ぐ里地里山のこれから

6月29日奥出雲町「奥出雲町農村環境改善センター」において2019ルール・ミーティング in しまねが開催され、県内から行政関係者、多面的機能支払活動組織、土地改良区等から約400名の参加がありました。

今回は農林水産省の広報活動として、平成15年から全国各地で開催されている語り部交流会（地域の歴史や民話、農業への取り組みなどを語り伝え、地域活性化につなげる活動）として、このたび奥出雲町において、「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が中国地方で初めて日本農業遺産に認定されたことを祝して開催しました。

はじめに開催地である勝田奥出雲町長、室本農林水産省農村振興局長の挨拶後、語り「たたらが育んだ里山の情景」～豊かな水が鉄穴流しから棚田へ 持続する農文化～として、元NHKキャスターで語り部・かたりすととして活躍されている平野啓子氏が古代衣装に身を包んで、『「令和」という新たな時代を迎えた今、古くから伝わる神話に耳を傾けつつ、いにしへの技を受け継いできた先人たちの生き様に思いを馳せ、郷土の歴史と文化を再認識することにより、多様な人々が美しいハーモニーを奏でうる、持続可能な農村社会の在り方が見えてくるかもしれません』と語られました。

続いて、NPO法人出雲学研究所理事長藤岡大拙氏により「なぜ奥出雲がヤマタノオロチ退治の舞台となったか」のテーマでの講演、その後平野啓子氏をコーディネーターに、「いにしへの技を受け継ぐ里地里山のこれから」をテーマに、室本局長、藤岡氏、地元で活躍しているパネラー3人により、持続可能な農村社会とは何か、その実現に向けてどのような行動を起こすべきか等について活発な議論が行われ、先人たちから受け継いできた自然と調和した里地里山を、地域住民自らが自信と愛着をもって活用していくことの大切さを学びました。

参加された活動組織の皆さん、大変ありがとうございました。





“いまでしょ” ～活動始めました～



「西荒島整備ナウ」（安来市）は、弥生時代から古墳時代にかけて古代出雲を代表する墳墓が多数築かれた荒島地域の西側に位置し、稲作を中心とした地域です。今回は、本田代表にお話を伺いました。

今年度から多面的機能支払に取り組まれますが、地域の現状はどうでしょうか。

ほ場整備から既に35年が経過し、水路の繋ぎ目から漏水が見られたり、イノシシが水路の脇を掘ったりして困っています。また、地域を流れる日白川にはヌートリアが生息し、側の農道に穴を掘り、耕作車の通行に支障を来している所もあります。

これからの5年間でどういうことを計画されていますか。

地域の皆さんで、水路や農道の草刈り、泥上げ、清掃活動を計画しています。それと地域の中でセイタカアワダチソウが繁茂する箇所があり、猪の住処とならないためにも駆除をしていきます。また、水路法面にシバザクラを植栽し、近くの「古代出雲王陵の丘」に観光に来られた方の目も楽しませようと考えています。



長寿命化では、水路、農道の補修を計画しています。予算のこともあり、優先順位をつけるのが難しいと感じています。

春の活動が終わって皆さんどうでしょうか。

5月には、水路、側溝の泥上げ。6月には農道の草刈り、清掃活動をしました。これまでは、農業者のみで行っていましたが、この活動に取り組むことで地域の方も沢山参加していただきました。この分だと、セイタカアワダチソウの駆除も皆さんの協力ですぐ済みそうな気がします。



本田さんの活動への思い、地域への思いをお聞かせください。

近年、「みんなが寄り合って何かをする。」という事も少なくなってきました。作業の休憩の合間に「あーだ、こーだ」と話し合う機会づくりになればと思います。

また、子供たちもゴミを拾うことによって感じるものがあれば良いと、、、故郷を思う気持ちを繋いでいきたいと思っています。

最後に、この組織名をつけられた理由があれば教えてください。

誰かが何とかしてくれるだろうという雰囲気でした。「このままだと地域がダメになる。」という危機感から、始めるなら「今しかないでしょう。」という気持ちを込めました。

本田さんお忙しいところありがとうございました。



今年度 改正のポイント 前号つき



事務が簡素化されます

■活動項目や様式の見直し

① 活動項目・取組の整理統合

活動項目・取組の整理統合を行い、取り組みの内容は変えずに**選択する取組数を統合**。

例) 資源向上(共同) 施設の軽微な補修

活動項目		取組	取組番号	取組の内容(平成30年度までの取組名)
実践活動	農道	農道の軽微な補修等	32	路肩、法面の初期補修
				軌道等の運搬施設の維持補修
				破損施設の補修(農道)
				きめ細やかな雑草対策(農道)
				側溝の目地詰め
				側溝の不同沈下への早期対応
				側溝の裏込材の充填
				破損施設の補修(農道の付帯施設)
8取組⇒1取組に統合				

② 申請・報告様式の見直し

文字を大きくし、入力方法を簡素化するなど、**分かりやすい様式に変更**。

例) 活動記録

取組番号表から取組に対応する番号を選択 活動内容が**自動で入力**

取組番号(左詰め)						活動内容		
						支払区分	活動項目	取組
7	10					農地維持,農地維持	水路,農道	7 水路の草刈り,10 農道の草刈り

※今年度、申請書(計画書)、報告書(活動記録、金銭出納簿、実施状況報告書)の**様式が変更になりました**。協議会ホームページからダウンロードしてお使いください。

事務支援システム「助さん」を利用されている組織は、いままでどおり平成30年度版「助さん」をお使いください。後日送付される、令和元年度「助さん」更新版をインストールしていただくと報告書等が、新様式で出力されます。(更新版の送付については、作成し次第、水土里ネット島根から送付されます。)

令和元年度多面的機能支払交付金全国研究会 ～活かそう人材、地域の力～ が開催されます。

8月16日締切

日時：令和元年11月6日(水)13:00~17:00

場所：一橋大学 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)

詳細については、同封しました案内文をご覧ください。

なお、この研究会は農地維持支払の「事務研修」に該当します。



「機能診断・補修技術等研修会」を開催します。8月16日締切

島根県の鳥獣対策担当職員を講師に、鳥獣害防護柵の設置のポイントや維持管理等について研修会を開催します。

■西部会場 令和元年8月27日(火) 13:30~16:00
定員 80名(原則1組織2名まで)
島根県益田合同庁舎 5階大会議室(益田市昭和町13-1)

■東部会場 令和元年8月29日(木) 13:30~16:00
定員 100名(原則1組織2名まで)
島根県中山間地域研究センター2階大会議室(飯石郡飯南町上来島1207)

★8月、9月の予定★

8月27日(火)	補修技術等研修会(益田市)	8月29日(木)	補修技術等研修会(飯南町)
----------	---------------	----------	---------------

ちょっと一息
おたよりコーナー

“草刈機モニター制度”の活用を 水土里ネット島根

前号に同封しました「草刈機のモニター制度」、早速沢山の活動組織から申し込みをいただきありがとうございました。

中でもラジコン草刈機は皆さんの関心が高く、予約が一杯の状況です。10月からは空きもありますので、借りたい日にち(一週間)を決めて電話でお申し込みください。後日申込書を送らせていただきます。

飯南町出羽地域農地・水・環境保全管理協定でも、ラジコン草刈機を使っていただきました。ラジコンなので若い人に試してもらったそうです。急傾斜で壊したら大変と慣れるまではロープをつけて試されたそうです。(ラジコン草刈機は最大法面角度40°に対応しています。)

活動組織の皆さんも、是非モニター制度を活用され、自分たちの地域での利便性等を確認されて、購入等を検討していただければと思います。



～多面的機能支払交付金に関することは～

◆島根県農地・水・環境保全協議会
〔事務局〕水土里ネット島根
Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ Tel 0852-22-6262

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



谷農地・水委員会(飯南町)